

令和7年度三重県市場公募債（グリーンボンド）主幹事選定について

令和7年度三重県市場公募債（グリーンボンド）の発行にあたっては、主幹事方式を採用することとし、次の各項目により、提案を募集して評価を実施し、評価1位の者を事務主幹事候補者、評価2位3位の者を共同主幹事候補者として選定する。

なお、詳細については、別添「仕様及び設計書（起債の概要及び提案内容等）」を参照すること。

1 発行概要

(1) 発行予定額

90億円程度（うち個人向け販売は10億円を想定）

(2) 発行時期

令和7年10月から令和8年3月の間

(3) 発行年限

未定

(4) 発行方式

主幹事方式を採用し、スプレッド・プライシング方式を原則とする。

(5) その他

- ・発行時期は、変更となる場合がある。
- ・受託銀行は別途選定する。
- ・引受シ団は組成しない。
- ・事務主幹事は、起債発行にかかる業務のとりまとめを行うストラクチャリング・エージェントを担うものとする。

2 主幹事の選定

(1) 主幹事の要件

以下の2つの要件をすべて満たすこととする。

- ① 令和6年度又は令和7年度（令和7年5月まで）に日本国債、地方公共団体の市場公募債、共同発行市場公募地方債又は財投機関債の主幹事実績があること。
- ② 令和6年度又は令和7年度（令和7年5月まで）に国内市場で、国内発行体の「グリーンボンド（円建て）」の主幹事実績があること（地方債、財投機関債、社債のいずれも可）。

(2) 選定方法

選定委員会において、参加要件に該当する者からの提案内容及び過去の実績に基づき評価を行い、主幹事を選定する。評価1位の者を事務主幹事候補者、評価2位3位の者を共同主幹事候補者として選定する。

(3) 提案方法

別紙2の作成要領に基づき提案書を作成し、期限までに提出すること。

【提出期限】令和7年6月5日（木）17時 ※厳守

（提出方法などの詳細については、別紙2を参照すること。）

(4) プレゼンテーションの実施

提案内容の審査を行うため、提案者によるプレゼンテーションを実施する。プレゼンテーションの実施時期及び形式等は、次のとおりである。なお、選定委員会がプレゼンテーションの必要がないと判断した場合には実施しない。

時期：令和7年6月13日（金）（予定）

形式：対面によるプレゼンテーション（不測の事態が生じた際は、オンライン会議システム（Zoom）を利用したプレゼンテーションに変更する場合がある。）

場所：三重県庁内又は三重県庁付近の会議室

内容：提出された提案書による説明（15分以内）及び質疑（10分以内）

備考：出席者は4名以内

ただし、提案者が多数の場合は、選定委員会で事前に書面審査を行い、優秀提案者を10者程度選定した上で、当該優秀提案者によるプレゼンテーションを実施するものとする。

提案者が多数の場合の書類審査の結果及びプレゼンテーションの実施日時等については、提案したすべての者に、令和7年6月10日（火）17時までに電子メールで連絡する。

プレゼンテーションにおける説明は、（3）の提案書により行うものとする。

（5）選定結果

主幹事決定後、提案書の提出があったすべての者に対し、文書で通知する。

（6）主幹事選定に係る有効期限（マンドート期間）

令和8年3月31日（火）まで

（7）質問及び回答

提案書の作成等にあたり質問がある場合は、質問票（第3号様式）によることとし、電子メールに添付の上、送信し、提出後、必ず電話により着信の確認を行うものとする。

なお、質問内容には、質問者（又は質問者が推定できる内容）は記載しないこと。

① 受付期間 令和7年5月16日（金）から同年5月20日（火）17時まで

②送信先 電子メールで次の宛先すべてにご送付ください。

・ 三重県総務部財政課 宛て zaisei@pref.mie.lg.jp

・ 財政課 松岡 毅 宛て matsut53@pref.mie.lg.jp

・ 財政課 實義 徳真 宛て miyost01@pref.mie.lg.jp

③回答 質問に対する回答は、三重県ホームページ「企画提案コンペ等情報（公告・結果）」に掲載する。

（8）主幹事（候補者）資格の取消しについて

次のいずれかに該当する場合、主幹事（候補者）資格を取り消す。

①財務省や金融庁から処分等を受け、当該処分期間中等の理由により、起債運営に支障があると本県が判断した場合。

②その他、起債運営に支障が生じるなど、主幹事（候補者）として不適切であると本県が判断した場合。

（9）主幹事等が遵守すべき事項

主幹事候補者、主幹事は下記の条項を遵守するものとする。

①三重県債の信用力や流通実勢等を適切に反映した提案、販売を行うこと

②起債運営に係る市場情報などの適時適切な提供に努めること

③報道機関等の取材に対して誠実に対応すること

④その他、県債による公金の調達的重要性に鑑み、県民の信頼を損なうことのないよう、社会的な責任に配慮すること

（10）その他

本選定に係る内容は、対外的に公表していない情報もあるので、取り扱いに十分留意すること。

別紙 2

令和7年度三重県市場公募債（グリーンボンド）主幹事選定に係る提案書作成要領

1 提案書の提出方法等

- (1) 提出期限 令和7年6月5日（木）17時 ※厳守
- (2) 提出方法 期限までに電子メールで電子ファイル（提案書はPDF、別添1～3はエクセル）を送信するとともに、10部（紙資料）を郵便又は民間事業者による信書便で送付すること。（提出期限日必着、持参不可）
- (3) 送 信 先 E-mailで次の宛先すべてにご送付ください。
- ・ 三重県総務部財政課 宛て zaisei@pref.mie.lg.jp
 - ・ 財政課 松岡 毅 宛て matsut53@pref.mie.lg.jp
 - ・ 財政課 實義 徳真 宛て miyost01@pref.mie.lg.jp
- (4) 送 付 先 〒514-8570 三重県津市広明町13 三重県総務部財政課 松岡・實義 宛て
- (5) そ の 他

- 提案書はA4横（カラー可、両面印刷）、本文10ページ以内、文字サイズ12ポイント以上（字体指定無）とし、必要な項目のみを精査のうえ、記載すること。（表紙、目次、ディスクレイマー、下記別添1～3の資料はページ数から除く。）
- 併せて、別添1「グリーンボンド主幹事実績一覧」、別添2「三重県に対するグリーンボンドに係る情報提供や提案等の実績」等及び別添3「参考見積書（引受手数料）」をエクセルファイルにて送付すること。
- 提出のあった提案書等の資料は、三重県情報公開条例に基づき情報公開の対象となることに留意すること。

2 提案項目及び記載内容

- 提案する項目は、「4 提案内容と評価項目」の「(1) 提案内容」の各項目とし、項目ごとにそれぞれ提案する内容を記載すること。
- 令和7年10月から令和8年3月の間に90億円程度（うち、個人向け販売は10億円を想定）発行することを前提として、起債運営（販売戦略、発行スケジュール等）を提案すること。
なお、法人向けに関しては複数年発行も可とする。

3 留意事項（提案にあたっての前提条件）

下表に記載した項目は、市場公募債発行において一般的と考えられ、各社共通の前提条件として取り扱うため、提案書への記載は不要とする。（本県の指定する条件以上の内容を提案する場合は適宜記載すること。）

項目	本県の指定する条件
マーケット メイク	○ 募集期間終了後から3か月程度、マーケットメイクを行う。 ○ 情報ベンダー等を通じて、適切なビッド／オファー条件（ビッド／オファー間スプレッドを含む）と提示し、価格維持に努める。 ○ 投資家の売り／買い双方向の取引ニーズに対し、価格維持の観点から適切に対応する。
起債運営 方式	○ 「主幹事・スプレッド・プライシング方式」において、一般的に採用される次の事項等 ・ 条件決定（ローンチ）、均一価格リリース方式の採用 ・ マーケットメイクを含む起債後のフォローアップ

4 提案内容と評価項目

(1) 提案内容

提案項目		提案内容	
現状分析	債券市場の環境	○金利見通し、投資家動向、グリーンボンド関連の市場動向等の分析	2 ページ程度
	三重県債の現状分析等	○三重県債に対する課題の分析 ○今次債の発行における市場での評価の見通し	
起債戦略	総論	○起債発行全般にわたる戦略（コンセプト） ○トランプ関税等の要因で市場が混乱し、需要が鈍化した場合の対応等	5 ～ 7 ページ程度
	発行方式・発行年限	○グリーンアムを最大限に確保するための発行方式・発行年限の提案 ※法人向けに関しては複数年限発行も可 ※投資家需要を踏まえたグリーンアムの最大化が図れる場合は、長野県令和 6 年度公募公債（グリーンボンド）のように定時償還方式での発行も可 ○10 年未満の満期一括債券を提案する場合は、将来の県債管理の事務コストの最小化ができるような借換方式の具体的な提案	
	販売戦略	○起債スケジュール及び推奨理由 ○獲得を目指す投資家層と具体的な販売戦略（販売体制を含む） ○投資表明の数値目標及び獲得の考え方 ○個人向け販売の戦略及び方策 ※貴社独自の強みを具体的に示すこと	
	IR 戦略・広報戦略	○投資家拡大（県内県外問わず新規投資家の拡大）に向けた具体的な提案 ○本県の PR ポイントを踏まえた IR 資料の具体的な提案 ○投資家拡大に資する効果的な IR 活動（アフター IR 含む）の具体的な提案（IR 先の提示を含む） ○個人向け販売に向けた広報の具体的な提案	
サポート体制	事務サポート	○引受体制 ○条件決定までの事務の進め方やロードマップ ○発行体の事務負担の軽減及び事務効率化につながる具体的な方策（アナウンス～IR 活動～条件決定～発行後のレポーティングに至るまでの間） ○効率的・効果的なレポーティング手法	2 ～ 3 ページ程度
	その他	○ストラクチャリング・エージェントとしての取組実績 ○額面 100 円当たりの引受手数料	

(2) 評価項目

項目	審査内容	配点
提案内容	1 現状分析に関すること 2 起債戦略に関すること 3 サポート体制に関すること	70 点
過去の実績	1 過去のグリーンボンド主幹事実績 2 有利な提案、情報提供等、三重県起債運営に対するこれまでの貢献度	30 点
合計		100 点